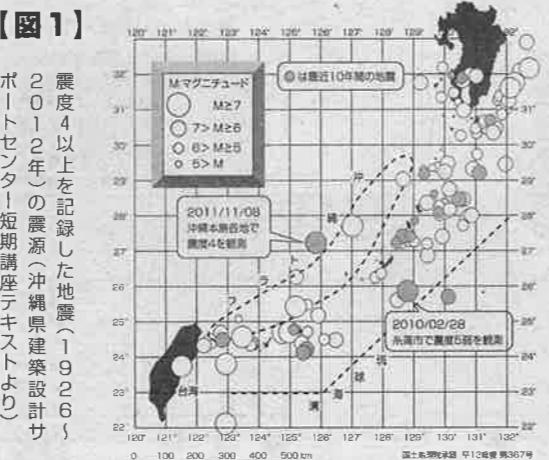
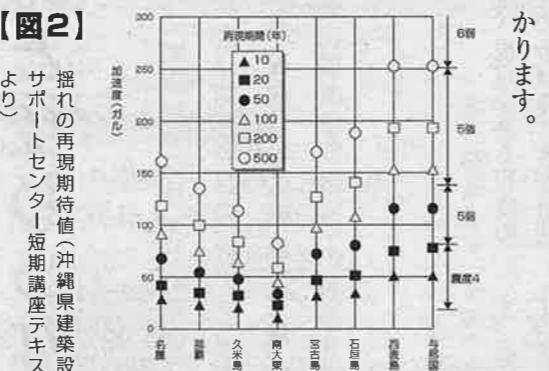


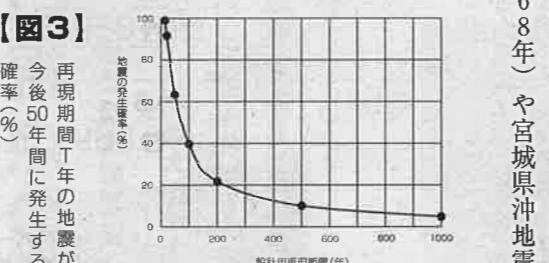
(圖 1)



【圖2】



【圖3】



大地震の直後でも建物の機能が停止しないようにしなければなりません。反面、

【性能設計】の時代になつてきます。

民間住宅の耐震診断・改修の補助制度について ～那覇市・浦添市・うるま市で実施～

昭和56年8月1日より前に着工した鉄筋コンクリート造の戸建て住宅、共同住宅、長屋住宅を对象に、耐震診断・改修の補助制度があります。詳細は下記までお問い合わせください。なお、今年度は耐震診断が対象です。
沖縄市建築設計サポートセンター 電話098-879-1020
那霸市建築指導課 電話098-951-3244
浦添市建築課 電話098-876-1234(代表)
うるま市建築指導課 電話098-965-5601

した過去の地震の震源を見てみましょう(図1)。円の大きさはマグニチュードを表し、黒く塗りつぶしたもののはここ10年間のものです。辺での発生が目立ちますが沖縄本島付近でもここ数年強い地震が立て続けに発生しています。

【Q】 汎縄でも強い地震は起りますか？

東日本大震災から、やがて2年。多くの教訓を生かすための具体的な行動を起こしては被害を最小限に抑えるための、耐震診断等を行っています。制度の活用の仕方や対策などについて、サポートセンターに教えてもらいました。

ゲニチュードを使えば、県内各地の揺れの強さの再現期待値（ある期間内に起ころる最大値）を推定できます（図2）。これによると、県内でも地域によって地震の強さがかなり違うことが分

*「ガル」は人や建物に加わる加速度の単位で、例えば100ガルは震度5を程度の揺れに相当します。

(1978年)な
写真のような柱の
壊、壁の偏在によ
破壊、ピロティ階
どの被害が顯在化
解決法として199
56年、「新耐震

どにより、せん断破壊の崩壊など、その原因を握るために、建築物の耐震性を調べる調査が実施されています。この調査によると、建築物の耐震性は、建築物の構造や地盤の状況によって大きく異なります。たとえば、木造建築は、鉄筋コンクリート建築よりも耐震性が低い傾向があります。また、建築物の高さによっても耐震性が異なる場合があります。たとえば、高層建築は、低層建築よりも耐震性が低い傾向があります。これは、高層建築では、地震による振動が、建築物の構造に大きな影響を与えるためです。一方で、建築物の耐震性は、建築物の構造や地盤の状況によって大きく異なります。たとえば、木造建築は、鉄筋コンクリート建築よりも耐震性が低い傾向があります。また、建築物の高さによっても耐震性が異なる場合があります。たとえば、高層建築は、低層建築よりも耐震性が低い傾向があります。これは、高層建築では、地震による振動が、建築物の構造に大きな影響を与えるためです。

建物を50年使うとして、再現期間が何年の地震で設計したらその要求に応えられるでしょうか？

大分県中部地震(1975年)での柱のせん断破壊。帯筋の間隔が30センチで、現在の規定の10センチより広いことが原因(琉球大学工学部森下陽一教授提供)



耐震診断のすすめ

1

「中興の地震」と耐震設計

Human Communication
NPO法人
沖縄県建築設計
サポートセンターに
聞きました
vol.001

vol.001